

2025年12月24日
西武バス株式会社

乗合バス路線の上限運賃変更認可申請について

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：塚田 正敏、以下「西武バス」）では、2026年7月1日を実施予定日とした乗合バス路線の運賃改定について、本日（2025年12月24日）、国土交通省関東運輸局長宛に、距離制運賃適用区間（多摩地区及び埼玉地区）に関する一般乗合旅客自動車運送事業の上限運賃変更認可申請を行いましたのでお知らせいたします。

1. 運賃の改定を申請した理由

西武バスは、2025年4月18日付で東京都区内均一運賃適用区間（23区及び武蔵野市）の路線バス運賃を上限250円とする変更認可を受けたことを機に、同年6月1日付で都区内均一運賃地区（京浜運賃ブロック）の実施運賃を230円としました。

しかし、依然としてバス事業を取り巻く環境は厳しく、将来にわたり持続可能な形で運営していくため、距離制運賃適用区間（多摩地区及び埼玉地区）の運賃改定を実施いたします。とくに、運転士や整備士をはじめとする人財の安定確保を最優先課題として位置づけており、処遇改善に必要な財源を確保することが不可欠です。加えて、物価高騰への対応や、安全で安定した輸送サービスを維持するための車両・設備の更新や投資も継続して行う必要があります。これらの取り組みを着実に実行し、安心してご利用いただける公共交通を守り続けるため、お客さまにも費用の一部をご負担いただきたく、運賃の改定を申請いたしました。

2. 申請の概要

- (1) 申請日 2025年12月24日（水）
 (2) 実施予定日 2026年7月1日（水）
 (3) 申請対象路線 距離制運賃適用区間（多摩地区及び埼玉地区）
 (4) 上限運賃の平均改定率 17.44%
 なお実施運賃に関しては上限運賃より低額な実施運賃といたします。

(5) 現行・申請運賃比較表

	現行運賃		申請上限運賃※1	実施運賃（予定）※2
	現金	ICカード	現金・ICカード	現金・ICカード
初乗り運賃	180円	178円	240円	200円
同 定期券 （通勤1か月）	8,100円		10,800円	9,000円

※1 申請上限運賃は、事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃は、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客さまから収受する運賃額です。

(6) 主な区間の運賃改定額

区 間	現行運賃		実施予定運賃	現行定期券	実施予定定期券
	現金	ICカード	現金・ICカード	(1か月)	(1か月)
国分寺駅北入口～小平駅南口	240円	231円	260円	10,200円	変更なし
大泉学園北口～朝霞駅南口	270円	263円	300円	10,200円	変更なし
ひばりヶ丘駅北口～朝霞台駅	290円	284円	340円	10,200円	変更なし
清瀬駅南口～久米川駅北口	250円	242円	260円	10,200円	変更なし
小手指駅南口～椿峰ニュータウン	190円	189円	220円	8,550円	9,900円
北浦和駅～浦和北高校	250円	242円	260円	10,200円	変更なし

3. 距離制運賃適用区間の輸送人員及び収支状況

		輸送人員	収支状況
2023年度 実績年度		7,229万人	△388百万円
2026年度 平年度推計	改定前	7,504万人	△2,105百万円
	改定後 ※3	7,291万人	△292百万円

※3 2026年度運賃改定後の輸送人員、収支状況は申請上限運賃での推定値です。

4. これまでの経営合理化及び今後の取り組み

西武バスでは、これまでバス事業の効率的な運営を目指し、保有車両の代替期間延長による償却費の削減に加え、不採算路線の見直しや、継続運行に必要な車両更新および維持管理コストを踏まえた検討を行い一部路線の廃止など、経営合理化に資する施策を講じてまいりました。

近年では、深刻化する運転士不足の課題解決のため、待遇面や職場環境面の改善を図りながら既存社員のエンゲージメント向上への取り組みや、新たに航空自衛隊と協力し、任期制等自衛官を対象としたバス運転体験会(*1)を行うなど、人財の確保・人財流出防止に取り組んでおります。

引き続き、生活様式の変化に対応した運行ダイヤの効率化を図るとともに、西武鉄道をはじめとする鉄道網とバス網との交通ネットワークの強化、さらにDXの推進により、自動運転バスや新たなモビリティサービスの導入も視野に入れ、サステナブルな視点で業務の効率化を進めてまいります。

5. 安全対策への取り組み

西武バスでは、バス事業の最大の使命である安全輸送の確保に向け、安全対策を最重要課題として継続的に取り組むとともに、付加価値を意識した「一歩進んだ安全」への投資を推進してまいりました。

具体的には、路線特性を踏まえた安全性を重視したダイヤの策定・実施に加え、乗務員に対する安全教育や、安全輸送に対する意識向上を目的として、自動車教習所を借用し、運転技量および旅客サービスの向上を図る運転訓練(*2)を実施しております。

また、デジタル技術を活用したフルオーダー型の研修車両による実技訓練などの施策も継続的に進めております。

さらに、安全性の高い新型路線バス車両として、ドライバー異常時対応システム（EDSS）を搭載した新型車両を積極的に導入し、今後は新型ドライブレコーダーの代替えを行うなど、最新技術を取り入れながら、引き続き安全への投資を行ってまいります。



（* 1）航空自衛隊入間基地にてバス運転体験会の様子



（* 2）自動車教習所にて行った技能訓練の様子

6. 利用者サービスの向上策

（1）通勤定期券【西武バス IC 金額式定期券】

- ・設定金額に応じた発売額は**今回の運賃改定では据え置く予定**としております。
230 円以上につきましては引き続き全線フリー定期券として発売します。

（2）通学定期券【学トク定期券】

- ・「1 学期・2 学期・3 学期・1 か月」と多様な学生の需要に応じて高い割引率で発売しておりますが、**今回の運賃改定では発売設定額は据え置く予定**としております。

（3）IC 一日乗車券【1 DayPass】

- ・大人発売額 700 円・小児発売額 350 円につきましては、今回の運賃改定で発売額の変更はありません。

（4）小児運賃の取り扱い

- ・「**小児用 IC カード**」支払時のみ 1 乗車 100 円を予定しております。
(一部区間の路線バス、深夜バス、高速バス、空港連絡バス、コミュニティバス除く)
現金支払い時及び大人用 IC カードでの精算は現行通り大人運賃の半額となります。

7. リリースに関するお問い合わせ先

西武バス株式会社 管理部 広報担当 金子・平佐・吉岡・中村
TEL : (04) 2995-8111

2025年11月25日

News Letter



航空自衛隊入間基地にてバス運転体験会を実施 任期制等自衛官を対象に就職支援へ

この度、西武バスにおいて、航空自衛隊と協力し、航空自衛隊入間基地において自衛官約40名を対象としたバス運転体験会を実施いたしました。

運転体験会は、11月8日に実施し、入間基地内に大型バス2台を持ち込み、基地内駐車場に特設した「8の字」コースにて、1人約5分間大型バスの運転を体験していただきました。この取り組みは、大型二種免許の保有者数が年々減少し、当社でも採用活動に力を入れる中で、運転士職の魅力ややりがいを知っていただくほか、自衛官が再就職する際のキャリア形成に役立てていただくことを目的としています。約40名の自衛官の方に参加していただき、運転の難しさや楽しさ、また西武バスグループ養成制度についても理解を深めていただきました。



大型路線バスの運転を体験する自衛官の様子

多くの自衛官は、50代半ば以降（若年定年制自衛官）または20代～30代半ば（任期制自衛官）で退職することになります。大型免許の有無を問わず、多くの自衛官の方に運転を体験してもらい、バス停留所に見立てたパイロンへの横付け停車や現役運転士との質疑応答など幅広く体験していただきました。今後も、西武バスグループでは、今回のような機会を幅広く設けるほか、運転士募集CMの放映など、



説明を受ける自衛官の姿



自衛隊に持ち込んだ大型バスの様子

ど、運転士確保に向けた様々な施策を強化し、積極的な採用活動を推進しています。加えて、自社研修所での研修制度の拡充をはじめ、引き続き、安全・安心の輸送サービスの実現に向け、より広く社会や地域の皆さまへの貢献に繋がる取り組みを進めてまいります。

NEWS RELEASE

西武バス「死角を視覚化プロジェクト」 春の全国交通安全運動に向けて、バスの“死角”を可視化した ラッピングバスが運行開始！

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：塚田正敏）は、2026年3月より事故防止を目的に、死角の位置を視覚的に示したラッピングバス7台を運行いたします。

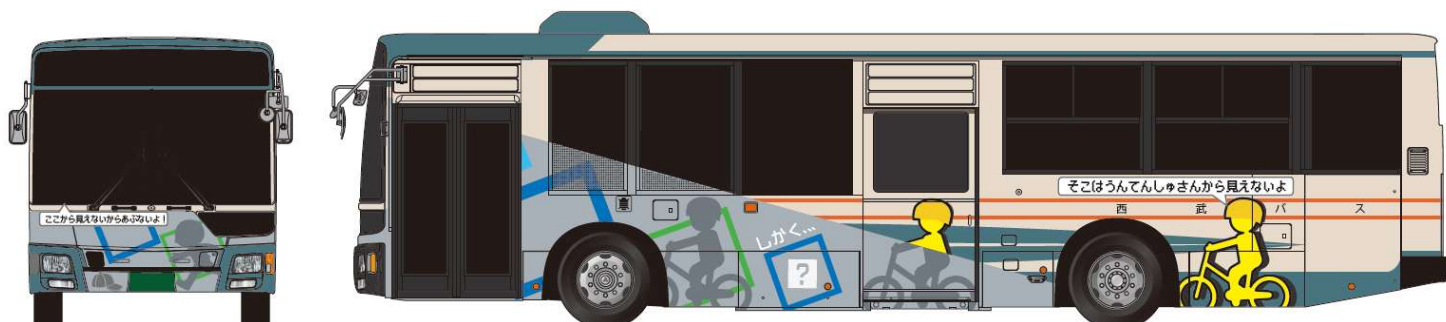
この取り組みは、バスの「死角」に着目し、見えにくい危険を“見える形”で伝える交通安全啓発の取り組みです。車両前面および左側面に実際に死角となる位置をデザインで可視化し、子どもにも分かりやすいイラスト表現を採用することで、死角に近づかない行動を直感的に理解できるよう工夫しています。

また、この車両は日々の路線バスとして運行するため、地域の皆さまが繰り返し目にすることで交通安全への意識向上を図ります。例えば、バスを見かけた親子が交通安全について話し合うきっかけとなるなど、日常生活の中で自然に交通安全を学ぶ機会の創出を目指しています。

当社ではこれまでも、交通安全教室の開催など、さまざまな事故防止の取り組みを実施してまいりました。しかし、教室形式の啓発活動には実施回数に限りがあることから、より多くの子どものたちや地域の皆さまに交通安全の大切さを伝える新たな方法を検討していました。特に4月は、通学に慣れていない新1年生の交通事故が増加する時期とされており、子どもをはじめとする歩行者の安全確保は「春の全国交通安全運動」においても重点テーマとなっています。こうした背景を踏まえ、地域の方々の目に留まりやすいラッピングデザインを施した車両を運行することで、バスの死角に対する理解を広め、交通事故の未然防止につなげてまいります。

今後も事故防止の取り組みを積極的に推進してまいります。

詳細は以下の通りです。



路線バスイメージ図

『死角ラッピングバス』概要

1. コンセプト

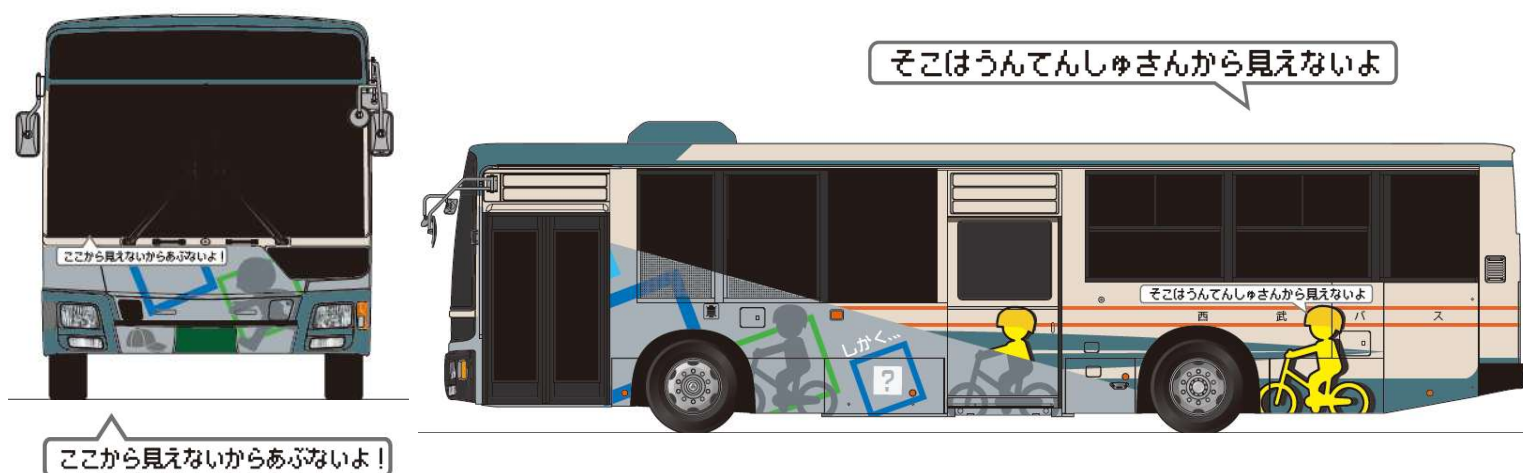
バスには運転席から見えにくい「死角」が存在します。本ラッピングバスは、その死角の位置を車両デザインで視覚的に示すことで、子どもを含む歩行者や自転車利用者がバスの特性を直感的に理解できるように工夫しました。日常的に地域を走る路線バスを通じて、見えにくい危険への理解を広げ、交通事故の未然防止につなげていきます。

2. デザイン

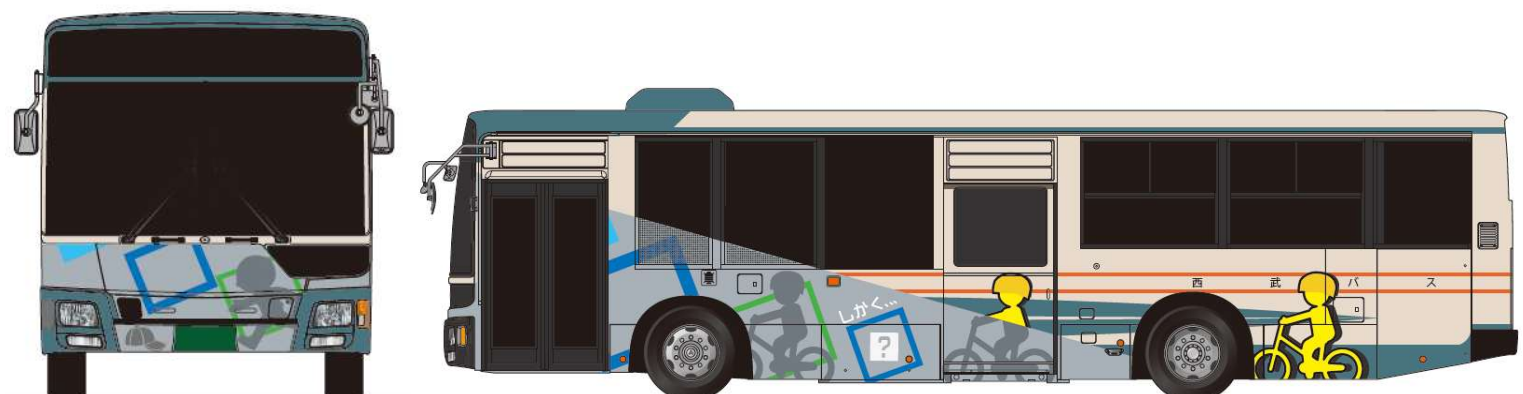
ラッピングバスは、柄としての「四角」とバスの「死角」を掛け合わせたデザインとなっており、吹き出しによるメッセージを加えたものと、イラストのみで表現したものの2種類を制作しています。吹き出しを入れたデザインでは、イラストのキャラクターが歩行者に語りかけるような表現とすることで、子どもにも分かりやすく交通安全のポイントを伝えています。

一方、吹き出しのないデザインでは、「しかく…？」という問いかけと、キャラクターの色が異なることへの疑問をきっかけに関心を引き、デザインの意図に気づいた際の納得感によって、バスの死角への理解を深めてもらうことを意図しています。

<吹き出し文字ありデザイン>



<吹き出し文字なしデザイン>





所沢営業所管内で走行する車両

3. 運行営業所

【東京】西武バス上石神井営業所、西武バス滝山営業所、西武バス小平営業所

【埼玉】西武バス新座営業所、西武バス所沢営業所、西武バス大宮営業所

4. 運行開始

2026年3月下旬～

5. デザイン制作

有限会社アドウィング（本社：東京都目黒区、代表取締役：畠耕一郎）

<http://www.addwing.co.jp/>

畠 浩之氏（プロダクトデザイナー）

有限会社アドウィング aix 事業室代表



■プロフィール

1976年	東京都生まれ 武蔵野美術大学造形学部卒業
2000年	トヨタ自動車株式会社入社 LEXUS、クラウン、アルファード等の 外形デザインにかかわる
2016年	有限会社アドウィング入社
2020年	西武バス 67年ぶりの路線バスデザイン変更 監修